

夏休みは受験の天王山

もうすぐ夏休みだ！

「よーし、力いっぱいコンピュータゲームしてやるぞ。」とか、「マンガためてあったから読むぞ。」とか、「毎日朝寝坊ができるぞ。」とか、「遊びまくるぞ。」とか、そんなことばかり考えている君、いかんねえ。そんなので、9回目の夏休みを終わらせていいの？しかも、受験生としての夏休みを！

少し、次からの内容をよく読んで、考えてみてほしいね。

おっとその前に、天王山（てんのうざん）の説明をしておこう。天王山は、京都盆地の西、京都府大山崎町の山。西側の山腹を、摂津国（現在の大阪府）と山城国（現在の京都府）の国境がよぎる標高270mほどの山だ。名神高速道路の天王山トンネルというのがあり、渋滞の名所である。京都、大阪の要路を押さえているので、古来たびたび戦場となった。南北朝や応仁の戦乱でも戦略上の要地として争奪の舞台となり山城も築かれた。なかでも、1582（天正10）年6月に織田信長を討った明智光秀と、その仇討ちを果たそうとする羽柴秀吉が戦った山崎の戦いでは、この山を制した方が天下を取ることになるとして「天下分け目の天王山」という言葉で表現されたのだ。つまり、天王山を押さえ、天王山で勝ったら天下を取ることだ。

ということで、「夏休みは受験の天王山」ということは、夏休みを押さえたら、受験に勝利するということなのだよ。

3年生にとっての夏休みの意味

3年生にとっての夏休みの持つ意味を考えると、次のような点で、とても重要なものとなります。

1 学力の向上をはかっていく上で、最後の大きな機会です。

夏休みは、不得意教科の克服をはじめ、学習に時間をかけてじっくり取り組める機会です。その意味では成績アップに絶好の機会です。

このあと冬休みもあるように思うかもしれないが、冬休みは大変短い。今、この時にやらなければ、もはや1年生2年生の復習はできないと言っても過言ではないでしょう。

また、やればできるという自信をつけるものこの時です。

自分の立てた計画通りに実行して、毎日を気持ちよく生活できるかどうかは、やる気に大きくかわってきます。

また、この夏休みに取り組んだ学習の成果が夏休み明けの実力テストで試せます。ここでそれなりに成果が上がると、自分に自信が

つきます。やってよかったな、とか、やれば自分はできるんだという自信を持つことはこのあとの学校生活に大きな影響をおよぼします。これはこのあとの学力の向上にも意味のあることです。

そういった意味で、大切に過ごしてほしいものです。

2 進路先の調査、研究がじっくりできる機会です。

希望している学校の調査研究などができるのも夏休みです。

高校の体験入学もその機会の一つですが、すべての学校で実施しているとも限りません。また、希望する学校の実施日が重なっているかもしれません。

そこで、自分の足を運んで、自分の目や耳で確かめてくる機会です。通学にかかる時間、交通機関、学校のようにすなどを自分で確かめてくる機会ですから、ぜひ計画的に取り組んでみたいものです。

3 親子で進路についてじっくり話し合い、方向を見定める機会です。

親の考えと子どもの考えを十分に出し合い、進路の方向を決めていく機会として夏休みは

こんな夏休みにしてはならない

これまではよく「こういう夏休みにしよう」ということを聞いてきたと思うけど、もう9回目の夏休み。今回は、すでに過去に失敗をしてきた人もいられるでしょうから、過去の失敗を繰り返さないためにも、やってほしくない例をいくつかまとめてみました。

1 生活のリズムをくずして、その日ぐらしの生活をしていくこと。

長いようにみえる夏休みも、終わってみればなんと短かったことかと感じたことが君にもあったことでしょう。

そこで特に大切なのが、生活のリズムの問題です。生活のリズムをくずして、その日ぐらしの生活を送ったのではたいへんです。

このときに大切なのが、朝の戦いです。これからは朝型の生活に変えていかななくてはならないでしょう。「朝早めに起きられない生徒は、成績の向上は無理。」「朝が勝負。」ということが言えるでしょう。朝7時に起きたのと、10時に起きたのとでは、1日の使い方が全く違ってしまいます。夏の10時といえどもうかなり暑くなっており、学習への意欲は減退してしまうのです。

それならば、夜勉強すればよいのではないかと、そして、午前中まで眠っていればよいのではないかと、思うでしょうが、夏休みのすべての日をそうできるならまだしも、登校日あり、家族との旅行ありで、必ずそんな日の前後に生活のリズムをくずしてしまいます。そうなると計画通りにいけなくなり、結局まともな生活はできません。

なんとしても朝早起きに徹しましょう。そ

やれば上がる、やらねば落ちる、やるしかない！

ということで、一言で言って

充実した夏休みを過ごそう！

ということだね。

好都合です。

親子で進路についてぜひ考えていきましょう。そして10月の進路希望調査では、親子の一致した進路に関する希望をまとめておい

てくださ

2 テレビ漬けになってしまうこと。

テレビとの戦いも、受験生にとっては大きな問題です。

特に、夜のテレビ番組を2時間以上見るようになったらおしまいです。

また、夏休みの後半に、テレビ病患者が多くなります。

夏の甲子園大会は大変です。連日しかもすべてを放映しますから、見始めると、ついつい高校野球のとりこになってしまうのです。

暑さとの戦いの次は、テレビとの戦いというわけです。

3 外出病にかかっていくこと。

暑さのためもあって机に向かえない生徒も増え、ついつい外出病患者になってしまう生徒も増えてきます。

デパートめぐりや釣りコースに出ていけない戦いも大変です。

また、友達の家へ行って、マンガを読んでくる、コンピュータゲームをしてくる、クーラーのきいた部屋で遊んでくるなんて人はいませんか。

勉強をしに行くのは、お互いに刺激になったり、教えあったりして向上にも役立ちますが、遊びに行くだけでは、自分の時間をおだにするだけでなく、相手の意欲もそいでしまいます。

外出病克服作戦もぜひ考えておきましょう。